

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	建設総務課	室・部・局	基盤整備部	予算事業コード	128200
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	関市土木水利委員協議会事業補助金		補助金の分類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)
②支出の根拠	決裁による			☐ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
③支出先	関市土木水利委員協議会			☒ (3) 一般負担金(団体等への負担金など)
				☒ (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)
				☐ (5) 個人に対する補助金・負担金
				☐ (6) その他
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり 負担割合 ☐ 県の負担あり 負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対 象	関市土木水利委員協議会		に対して
	手 段	研修等により知識を深め、委員相互の連絡調整		を行うことで
	受益者	各土木水利委員		が(を)
	意 図	地域との相互理解と市の土木・農務・林務行政の円滑な事業推進を図る		という状態にする
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日		補助開始年度	昭和 44 年度
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課	☐ 主に支出先団体	☐ その他 ()	
⑧構成員の負担	☐ 負担なし	☐ 負担あり	負担額	1人 あたり 2,000 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	補助率を定めている→補助率	
	0	100	100	200	単価を定めている→算式	
②過去における 見直し状況	☐ 定額補助 ☐ その他 ()					
③支出先の決算 の状況	R5歳入決算額	300 千円	R5歳出決算額	184 千円	翌年度繰越額	116 千円
	R5歳入に占める補助金の割合		33.3 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か 類似の補助金はあるか(あれば名称)	適当 なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか 支出額・補助率は適正か	把握している 適正
③有効性	補助の目的は達成できているか 交付先の事業成果は向上しているか 補助を休止・廃止した場合の影響は	達成されている 向上している 協議会の運営に支障をきたす

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	・R5については、会員からの負担金は徴収せず。		